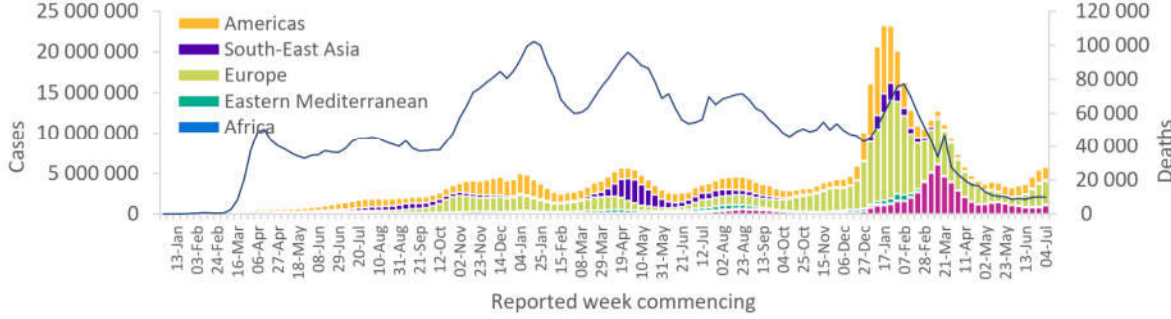


Figure 1. COVID-19 cases reported weekly by WHO Region, and global deaths, as of 10 July 2022**



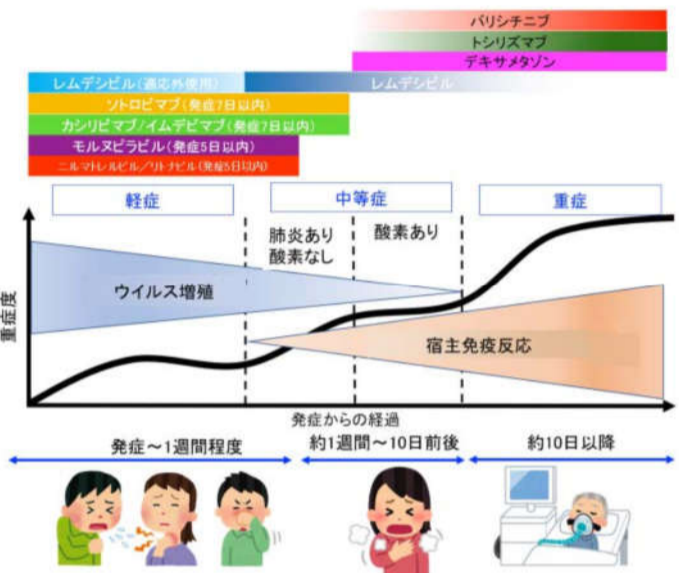
二〇二二年七月十九日
コロナニュース21

☆ 半年ぶりです。2月ロシアによるウクライナ
 侵略！戦災という災害もまたありうることを
 を思い知らされ、コロナ感染症と「ころではな
 い。いえ、やはり感染症は甘くありません。7
 月になって第7波が急速に広がっています。
 もう一度知識を確認しましょう。

☆ WHOの統計から、世
 界的流行の第5波はヨーロッパを中心として始
 まり、日本も7

波が発生しまし
 た。オミクロン
 株のうちの免疫
 逃避を来しやす
 い B.1.5.1 系統に
 置き換わってき
 ていることと、
 接種後時間が経
 過してワクチン
 の効果が薄れた
 ことなどが大き
 な理由です。幸
 いまだ死亡者の
 数はそれほど増
 えていませんが、
 ワクチンを打つ
 たはずの高齢者
 に死亡者が増え
 ている現実があ
 ります。ヨーロ
 ッパではしかし、
 コロナ感染症と
 の共存を図る国
 が多くマスク着

用もほとんどなされなくなっています。



☆ 治療薬特に内服薬について・・・コロナ感染症
 に対する治療法も軽症から重症までいくつか選
 択できるようになりました。その中でも現在日
 本で使用可能な内服薬は2種類ですが、当院で
 処方できるのは、モヌラピ
 ラビル (ラゲブリオ®) だ
 けです。発症から5日以内
 の重症化リスクの高い、
 12歳以上の方に処方でき
 ます。若くてリスクのない
 軽症の方には処方しており
 ません。



☆ 濃厚接触者の定義と待機期間・・・保健所は濃
 厚接触者の判定をせず、一般市民がその判断を
 しなければなりません。濃厚接触者の定義は

- ▼ 患者と同居あるいは長時間の接触（車内、航空機内等を含む）があった者
- ▼ 適切な感染防護なしに患者を診察、看護若しくは介護していた者
- ▼ 患者の気道分泌液若しくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い者
- ▼ その他・・・手で触れることの出来る距離（目安として1メートル）で、必要な感染予防策なしで、患者と5分以上の接触があ

☆ 現時点での待機期間を表に示しました。
検査は無料でできます・・・ ワクチン・検査パ
 ッケージ等定着事
 業 (VTP) と一般検
 査事業は当院でも
 1月から可能です。
 三重県民であれば、
 希望すれば検査を
 受けられます。国
 は無症状の方の無
 制限の検査を目指
 してははずです
 が、制約もありま
 す。下表の検査対
 象には、事業所が
 必要と判断したも
 のは含まれません。
 感染者や濃厚接触
 者が隔離解除の時
 に検査をすること
 は勧められておら
 ず、検査を希望する場合には下表に該当する何
 らかの理由が必要です。(ややこしくて現場も
 混乱していますが)。最近再び検査キットが不
 足してきています。

感染者・無症状陽性者・濃厚接触者の待機期間	
感染者	発症日から10日間経過しかつ症状軽快後72時間経過した場合
無症状陽性者	検体採取から7日経過した場合
濃厚接触者	接触日から7日間経過した

☆ 第3回目および第4回目ワクチン・・・限定的
 ではありますが、ワクチンの感染予防効果は確
 実に認められており、重篤化しやすい高齢の方
 には4回目のワクチン接種をお勧めします。特
 に3回目の接種までで重篤な副反応のなかった
 方は打つべきでしょう。当院では供給の関係か
 らファイザー製のみを扱っております。7月は
 土曜日、8月からは金曜日と土曜日に接種しま
 す。ワクチンの予約は桑名市が一括して管理し
 ます。接種券が市から送られてきましたら、ワ
 クチンコールセンターや市のホームページで予
 約を取ってください。桑名市の広報やHPをま
 めに確認してください。(桑名市ワクチンコー
 ルセンター ☎ 0120-755-105 年中無休

無料検査の概要		
ワクチン検査パケ ージ	感染拡大傾向時の 一般検査	
期間	8月31日まで	7月31日まで
対象	限定なし	三重県民のみ
対象条件	無症状 経済社会活動を行う にあたり必要	無症状 感染に不安を感じる
検査種	原則 抗原検査 (10歳未満・高齢 者などの接触を予 定する場合は PCR も可能)	抗原・PCR・抗体 ワクチン接種回数 を問わず

☆ オンライン診療のすすめ・・・万が一自宅待
 機となった場合、当院は感染者を観察する施設
 として登録してあります。連絡をください。で
 きればオンラインや電話診察での対応をお願い
 いたします。

☆ 感染対策・・・今までと変わることはありません。
 集まらない。密を避ける。炭酸ガスモニタ
 ーを利用し換気をまめに行う。手洗い、アルコ
 ール消毒。不織布マスク励行。厭わずに続けて
 頑張りましょう。

医院からのお願い

- ★ 電話再診・オンライン診療が
利用できます。電話や受付な
どでご相談ください
- ★ 自宅で検温してください。発
熱があればあらかじめ連絡を
ください!
- ★ 入り口で検温・指消毒・マス
クをお願いしています。発熱
者は車内待機や発熱外来をお
願いすることがあります
- ★ PCR 検査などは電話で相談
ください。

編集・文責 村松正俊
 コロナニュース 二〇二二年七月十九日発行

